

# 国語② 思いやりのデザイン

かだい

「Aの案内図」と「Bの案内図」の長所と短所を読み取るう。

- ・教科書P48・49を開きます。
- ・国語のノートの新しいページを開きます。

# 学習の流れ

- ① ノートに単元名、日にち、かだいを書きます。
- ② 「思いやりのデザイン」を音読します。
- ③ 音読カードにふりかえりを書きます。
- ④ 「Aの案内図」の長所と短所を読み取り、ノートにまとめる。
- ⑤ 「Bの案内図」の長所と短所を読み取り、ノートにまとめる。

- ・今までの国語のじゅ業と同じ書き方をします。
- ・ていねいに書きましょう。
- ・次のページのノートの例を参考にしましょう。

Bの案内図		Aの案内図		
「Bの案内図」の長所	「Aの案内図」の長所	長所	○ 思い	と、の
			△ やり	
「Bの案内図」の短所	「Aの案内図」の短所	短所	か	と、の
			と、の	と、の
			短所の案内図	と、の
			読み取り	と、の
			ろう。	Bの案内図
				の長所

それぞれの案内図の長所と短所を見つけてノートにまとめます。

ノートの例

線を引いている部分を読みましよう。  
これが、「Aの案内図」の長所です。

## 思いやりのデザイン

木村博之

### 初め

- ① 学校の中に、トイレやひじょう口の場所を知らせる絵文字、校内の案内図、手のあらい方の説明図などがあるでしょう。それらのように、伝えたいことを、絵や図、文字を組み合わせて見える形にしたものを、インフォグラフィックスといいます。これは、インフォメーション（伝えたいこと）と、グラフィックス（形にすること）を合わせた言葉で、デザインのひとつです。
- ② わたしには、インフォグラフィックスを作るときに大切にしていることがあります。それは、相手の立場から考えるということです。絵や図を使っても、必ず分かりやすくなるとはかぎりません。街の案内図を例に考えてみましょう。

- ③ Aの案内図は、どこにどんな建物があるかを、だれが見ても分かるように表しています。そのため、この街に来た多くの人の役に立ちます。しかし、目的

### 中

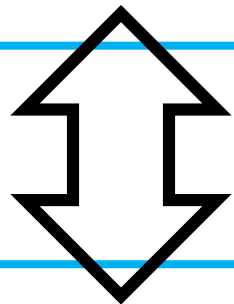
- ④ 地が決まっている人にとってはどうでしょうか。たくさん道の道や目印があるため、どの道順で行けばよいのかまよってしまうかもしれません。
- ⑤ ④ いっぽう、Bの案内図は、目的地までの道順と目印になる建物だけを表しています。まよわず安心して目的地に向かえるように、歩くときに見えるけしきをさまざまに想像しながら、見る人にとっていちばん分かりやすい道順にしぼってしています。しかし、街全体の様子を知りたい人にとっては、十分なものではありません。

- ⑥ このように、インフォグラフィックスを作るときには、相手の目的に合わせて、どう見えると分かりやすいのかを考えながらデザインすることが大切です。つまり、インフォグラフィックスは、見る人の立場に立って作る、思いやりのデザインなのです。



## 「Aの案内図」の長所

どこにどんな建物があるのかをだれがみても分かるように表している。

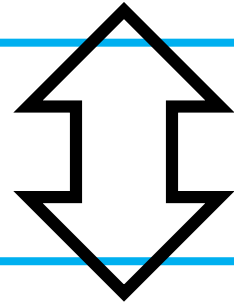


## 「Aの案内図」の短所

だれにとって、どんなところが分かりにくいかな。ノートにまとめよう。

## 「Bの案内図」の長所

どんな案内図で、分かりやすいのはどんなところかな。ノートにまとめよう。



## 「Aの案内図」の短所

だれにとって、分かりにくいかな。ノートにまとめよう。